

SPORTS INTEGRITY

について

日本ハンドボール協会

指導普及本部長

三輪一義

PLAY TRUE

“スポーツにある価値”

“スポーツを通じた価値”

PLAY TRUE

Excellent (最善を尽くす)

Friendship (仲間を信じる)

Respect (他者を尊敬する)

Sport Integrity

「スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、
価値ある高潔な状態」

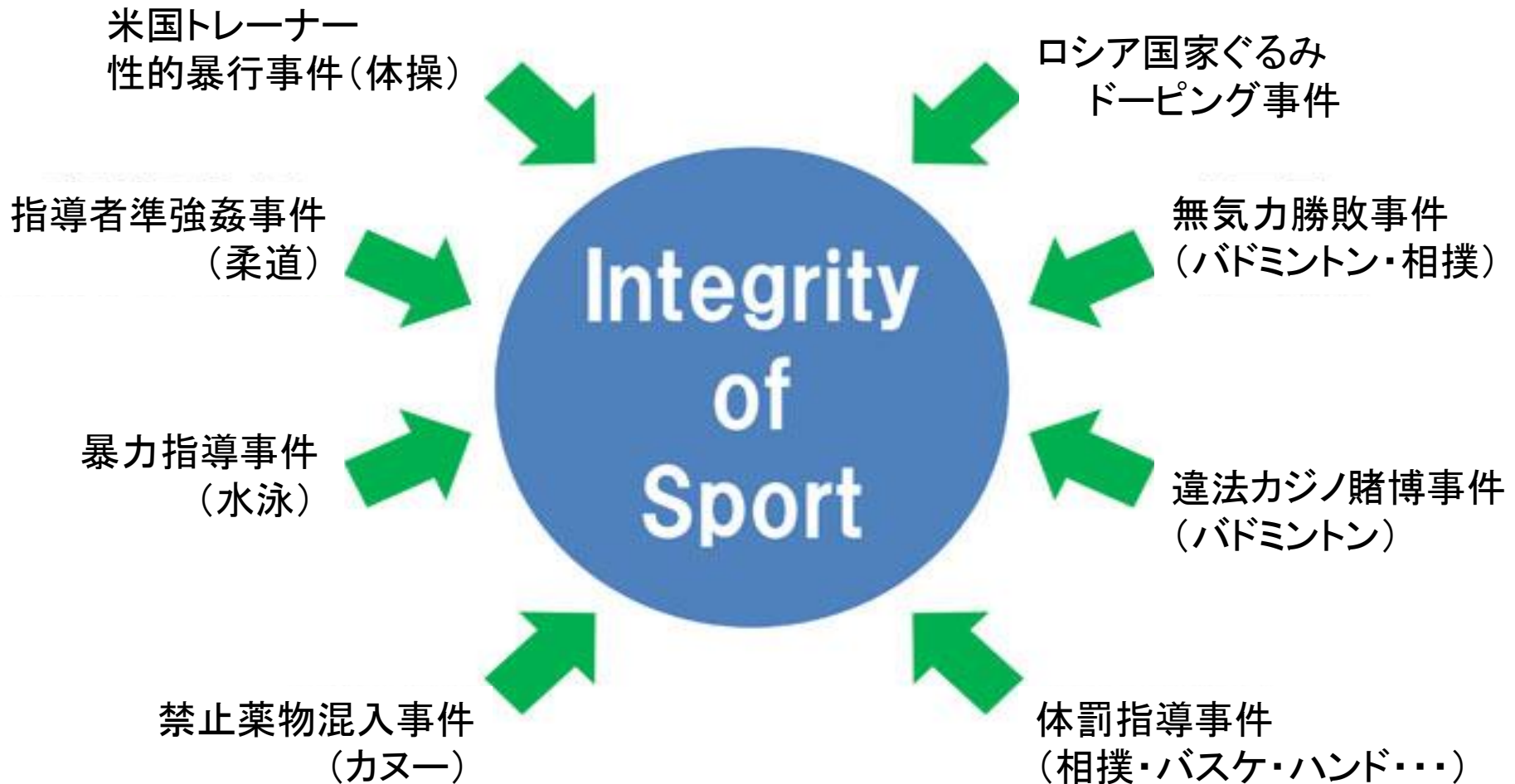
本来、スポーツには人々を幸福にし、社会を善い方向に導く力があるといわれています。スポーツが本来持つ力を発揮するためには、その前提として、スポーツの「インテグリティ」が守られていることが重要です。

しかし、スポーツ界にはいま、ドーピングや八百長、スポーツ指導における暴力、ハラスメント、ガバナンスの欠如など、「インテグリティ」を脅かす様々な問題があります。

Integrity of Sportを脅かす要因



Integrity of Sportを脅かす事件



スポーツ指導者の コンプライアンスを考える

(法律、規程、ルール、マナー、倫理
を遵守すること)

—自分の人生を守るために—

このテーマのねらい

1. 自分がコンプライアンスを守るために
→どんな視点が腑に落ちるか
2. 人にコンプライアンスを守ってもらうために
→どんな言い方なら納得してもらえるか

正論を振りかざすだけでなく、切り口を考えるきっかけに

1

あなたはこれまでの人生で
体罰・暴言を受けたことが
ありますか

1-2

体罰・暴言を受けた時は、
どんな気持ちでしたか

1-3

今現在、
体罰・暴言を受けた事を
どう捉えていますか

2

あなたはこれまでの人生で
体罰・暴言を見たことが
ありますか

2-2

体罰・暴言を見た時に、
あなたはどのような行動
を取りましたか

3

あなたは今までの人生で
体罰・暴言をしたことが
ありますか

3-2

体罰・暴言をした時は
どんな気持ちでしたか

(あえて正当化して下さい)

なぜ体罰が起きるのか
なぜしてはいけないのか
どうすればなくなるのか

＜その背景＞

＜その理由＞

＜その方法＞

スポーツの起源

人間以外の動物にもみられる
「遊び」や「じゃれあい」などに相当する
コミュニケーション行動

動物の「遊び」や「闘争」を起源とした
古く根源的な営み

(森丘保典, 2017 : コーチング学への招待)

スポーツの発展

聖的なスポーツ

上流階級による「困難な課題の克服に楽しみを見出す」

俗的なスポーツ

大衆による「野蛮な行為を含んだ気晴らしの活動」

スポーツの本質

「勝利の追求」と「スポーツマンシップ」の
両立は困難な課題である



スポーツを純粹に遂行する（純粹に勝利を
追求する）と、どうしても「えげつない」
「卑怯な」行為に走ってしまう



わざわざ「正々堂々」が喧伝され、「競技者
は人格高潔であるべき」と強調される

スポーツの本質

「競技力の向上」と「人間力の育成」
は相補的な関係にはない

(岡子浩二, 2014)

たとえ立派な大人であっても勝利のために
常軌を逸した行為に走るのは、
不可避なことだと言わざるを得ない

(川谷茂樹, 2005)

スポーツの本質

スポーツのこの**本質的な危険性**を熟知し、それといかにうまく付き合うか知恵を絞ることなのではないか

逆に言えば、この危険性を理解していない人、**スポーツに対する甘い幻想**を未だに信じている人がもっとも危険であるといえないか

(川谷茂樹, 2005)

スポーツの成立と 発展の歴史

スポーツは善にも悪にもなりうる
「諸刃の剣」という
文化的特性を有している

(森丘保典, 2017 : コーチング学への招待)

スポーツの矛盾

「勝利の追求とスポーツマンシップ」

「失敗と成功」

「自立と依存」

「強制と放任」

と対峙しながら、**ダブルゴール**を目指す
ことが**現在のCoaching像**

(関子浩二, 2014 森丘保典, 2017)

スポーツの持つ意味

先史から現代に至るまで、
それぞれの時代や社会特有の価値観に
影響を受けつつ、社会的慣習を伴いながら
今日に至るまで継承されている

(コーチング学への招待:2017)

社会における 昔の常識・今の非常識

- 天動説
- 日光浴
- 暗い場所の読書
- 水分摂取
- ウサギ跳び
- 傷口消毒
- たき火、ゴミ焼却
- シートベルト
- 住所入り名簿
- 媒酌人（仲人）
- ヤバいの意味
- バレンタインに告白する
- 大学授業出席
- 年金支給
- 歩きタバコ
- ほろ酔い運転

社会における 昔の常識・今の非常識

- 天動説
- 日光浴
- たき火、ゴミ焼却
- 大学授業出席
- 名簿が男女別
- 年金支給

昭和→平成

- 暗い場所の読書
- 住所入り名簿
- 歩きタバコ

社会は大きく変わった

- 水分摂取
- ウサギ跳び
- 傷口消毒
- 株取引（件数）
- ヤバいの意味
- バレンタインに告白する
- ほろ酔い運転

社会における 昔の常識・今の非常識

- 天動説
- 日光浴
- 暗い場所の読書
- 水分摂取
- ウサギ跳び
- 傷口消毒
- たき火、ゴミ焼却
- シートベルト
- 住所入り名簿
- 媒酌人（仲人）
- ヤバいの意味
- バレンタインに告白する
- 大学授業出席
- 年金支給
- 歩きタバコ
- ほろ酔い運転
- 家庭内しつけ

家庭内しつけ

社会に出て、必要な常識を身につけさせる目的。

ひとえに子どもために。 将来の子どもを思う親心。

親の意思がすべて。 子どもの気持ちは存在しない。

方法、程度は百人百様。（正解や常識や規準はない）

“痛み” や “恐怖” を与えて、行動制御をする方法も？

家庭内暴力との境界はどこに

スポーツにおける体罰・暴言

試合に出て、必要な技術を身につけさせる目的。

ひとえに選手のために。 将来の選手を思う親心として。

指導者の意思がすべて。 選手の気持ちは存在しない。

方法、程度は百人百様。 (自分の過去体験に因る)

“痛み” や “恐怖” を与えて、PLAY制御をする。

「しつけ」と「体罰」を同じ意味合いで捉える

スポーツにおける体罰・暴言

試合に出て、必要な技術を身につけさせる目的。

ひとえに選手のために。 将来の選手を思う親心として。

指導者の意思がすべて。 選手の気持ちは存在しない。

方法、程度は百人百様。 (自分の過去体験に因る)

“痛み” や “恐怖” を与えて、PLAY制御をする。

「やった瞬間に終わり」という時代になった

体罰・暴言をしてはいけない理由(正論)

教育の場における体罰はいけない。

他人に対して暴力を振るうことは犯罪だ。

学校教育法という法律で禁止されている。

日体協が暴力撲滅宣言をしている。

体罰は人の道に反する行為である。

体罰は悪いことである

体罰・暴言を否定する言葉

体罰に頼って作り出される人間は体罰によってしか動かない。そんな人間を社会は必要としていないことを指導者もスポーツ界も認識する時期にきている。

山口香(柔道)

私は、体罰は必要ないと考えています。「絶対に仕返しをされない」という上下関係の構図で起きるのが体罰です。監督が采配ミスをして選手に殴られますか？ スポーツで最も恥ずべきひきょうな行為です。殴られるのが嫌で、あるいは指導者や先輩が嫌いになり、野球を辞めた仲間を何人も見ました。スポーツ界にとって大きな損失です。

桑田真澄(プロ野球)

体罰がなぜいけないのか。それは、指示待ち人間を作るからです。体罰を受けた選手は萎縮し、指導者の顔色ばかりうかがうようになる。暴力で追い込むと、選手の競技力を向上させるどころか、将来の人生にも悪い影響を与えるのです。

為末大(陸上)

反論 体罰を否定する著名人は「恵まれた人」

一般のスポーツ選手や指導者は、彼らのような優れた才能を持つ人たちばかりではない。

トップアスリートは、スポーツ界を代表する存在ではあるが、より広く、裾野まで含むスポーツ選手全体の中では特殊な部類に属する少数派といえる。

彼らは才能があったから体罰を受けることなく才能を開花させることができたのではないか。

彼らのような優れた指導者の中には優れた選手が集まってくるがゆえに、体罰に頼ることなく成果を出すことができたのではないか。

ここまで来て、「**暴言**」について考える

「暴言」は「大声」「怒声」「厳声」「緊声」とは違う

「暴言」は「激しく怒ること」ではない。→ 『**人格否定**』

「暴言」については、メリットが何も無い。

「暴言」に関して、擁護する理由は何もみつからない。

「暴言は必要悪だ」という人も、誰一人いない。

「暴言」は、個人の性格の悪さの表れでしかない。

暴言は何一つ良いことがない

暴言は「**大人が子どもにするいじめ**」
ともいわれる

暴言は**自己発散**の象徴行為

暴言に「**愛**」は存在するか

暴言は百害あって一利なし

体罰をやめられない理由(実際)

信頼関係があれば、体罰も有効な指導法である。

体罰は絶対悪ではなく、時と場合によっては必要悪だ。

自分の現役時代に、加えられた体罰には意義があった。

保護者から「やってくれ」とお願いされている。

目先の結果（勝利）を残さなければならない。

体罰は悪いことだと解っている

体罰はドーピングである

体罰をやらないで欲しい理由

◎ 子どもを守る

< 絶対正論として >

脳科学の研究分野において、
身体的虐待、心理的虐待によって、
脳の萎縮を含む、脳への悪影響を指摘する
研究論文が多数報告され始めている。

体罰によって「幸せになった」子どもよりも、
その何倍、何十倍も、「不幸になった」子が
いる現実を知る必要がある。

体罰が認められない理由をどう捉える

**昭和→平成
社会は大きく変わった**

時代の価値観

社会における 昔の常識・今の非常識

- 切腹
- 合戦
- 戦争

体罰が認められない理由をどう捉える

**昭和→平成
社会は大きく変わった**

時代の価値観

SNS隆盛の世の中

体罰をやらないで欲しい理由

★ 自分を守る

すぐに訴えられる時代になった。

価値観が多様化し、様々な保護者が存在する。

→理解者ばかりではない。隠蔽は無理。

一般観客がSNSに直ぐに映像投稿する。

裁判に勝っても、被告の汚名は簡単に消えない。

**他人を育てるために、
自分の人生を捨てますか？**